

## 中部委員会主催 合格祝賀会のご報告

中部委員会 委員  
安田宗丘



昨年12月17日、令和7年度弁理士試験の合格者をお招きし、中部委員会の大イベント「合格祝賀会」が開催されましたので、そのご報告をいたします。

今年度の祝賀会は、冬將軍の急襲により体調不良者が続出し、参加者が土壇場で減るというハプニングからのスタートとなりました。

しかし、そんな逆風にもめげず、5名の合格者のほか、中部委員から若手・中堅・ベテランの幅広いメンバーが集結。さらに、弁ク執行部からも、幹事長の小越先生と、幹事長代行の三苦先生のお二方にもお越しいただき、計17名での開催となりました。

会場は、400年の歴史があるという老舗料亭が展開するイタリアンレストラン“THE KAWABUN NAGOYA”。大正モダニズムを感じさせるその空間は、弁ク特有の知的で落ち着いた雰囲気ピッタリです。

そんなステキ空間のもと、小越先生による祝辞、三苦先生の乾杯発声によりスタートした祝賀会。

中部委員の面々からは、判例勉強会や判例70選などの弁クの活動紹介も交えつつ、合格者の皆さんに向けて、経験談やエールを寄せていただきました。そのスピーチの一つ一つには、各先生の温かい人柄が滲み出ており、会場には柔らかく心地よい空気が広がっていくのを感じました。

また、合格者にも、お一人ずつ簡単な挨拶をいただいたところ、皆さん、急なお願いにも関わらず、軽くジョークを交えながら実に見事なスピーチ。こうも上手く話せるものかと舌を巻いても巻いても巻き切れないほどで、その堂々とした姿に弁理士業界の未来は明るい希望を抱いた次第です。

生成AIの台頭、経済状況の悪化、世界情勢の不安定化など、何かと世知辛い世の中ですが、この合格祝賀会は、人間の温かみを感じることができるものであったと思います。

きっと私と同じように、この会の空気を心地よく感じてくれたのでしょう。帰りがけに合格者の方が「弁ク、いいですね」と声をかけてくれたので、思わず胸が熱くなりました。私は、去年の中部委員長

として、会の準備から当日の司会進行までを担当いたしました。この言葉で、準備の苦勞も司会の緊張もすべて報われ、あらためて「本当に良い会だった」と感じることができました。

そんな良い会にすることができたのも、合格祝賀会にご参加いただいた皆様のご協力あつてのことです。

この場を借りて、感謝申し上げます。

以上